



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：アブドッラー国王の入院

2012年11月16日、サウジのアブドッラー国王はリヤドの医療施設で背中 of 外科手術を受けた。サウジの報道機関は、手術は成功裏に終わり、その後今日まで同国王が王族の見舞いを受けたり、各国の元首等と電報のやり取りをしたりする活動を報じている。今のところ、同国王の退院予定は不明である。アブドッラー国王は、既に年齢が80代後半に達し、毎年のように何がしかの外科手術を受けている。そして、そのたびに同国王の健康状態について様々な憶測が流布している。

サウジでは主要な王族（閣僚を兼ねる）の高齢化・健康問題が長年関心を集めており、近年も皇太子2名が相次いで国王より先に死去したり、2012年10月にサ우드外相が入院したりするなど、後継や世代交代の問題が一段と差し迫っている。

2011年1月以降のアブドッラー国王の健康問題についての主な動きは以下の通り。

主な動き

2011年

2011-01-22（土）

米国で療養中だったサウジのアブドッラー国王がリハビリのためにモロッコ・カサブランカに到着した。モロッコのムハンマド6世国王が出迎えた。アブドッラー国王は昨年11月と今月初めに米国で手術を受けている。

2011-02-10（木）

サウジ王家の有力者（a senior member）の顧問（an adviser）はロイターに対して、アブドッラー国王が逝去したという噂は事実と反すると述べた。またロイターはモロッコ・リバート発で、アブドッラー国王の体調は申し分ない（in excellent shape）というサ우드外相の発言を報じた。

2011-02-23（水）

アブドッラー国王が静養先のモロッコから帰国した。スルターン皇太子、ナーイフ内相、サウジ訪問中のバハレーンのハマド国王が出迎えた。帰国の数時間前に同国王は、国家公務員

に対する 15%の昇給や住宅ローン基金への増資（住宅ローンの限度額引き上げ）、失業手当の支給等を命じた（これらの恩恵の総額は約 370 億ドル相当）。また、金融犯罪で起訴された被告人数名に恩赦を与えた。更には、2月19日に一部閣僚の任期が終了したことを受けて、内閣の部分改造が予測されている。

2011-02-25（金）

ラビーア保健相は、先日帰国したアブドッラー国王は健康だが、理学療法を続ける必要があると述べた。

2011-02-28（月）

アブドッラー国王は静養先からの帰国後初の閣議を主宰した。ロイターは、サウジ人活動家達から要求されている内閣改造や改革が実行される兆しはみられないと報じた。

2011-10-11（火）

王宮府は声明の中で、アブドッラー国王が近く、リヤードの病院で腰の手術を受けると発表した。靭帯が伸びているのが発覚したというが、詳細は明かされていない。国王は 86～87 歳に達していると思われ、昨年も同様の手術を受けている。

2011-10-17（月）

国営サウジ通信はアブドッラー国王の脊椎手術がリヤードで行われ、手術は成功したと伝えた。アブドッラー国王は昨年も米国で椎間板ヘルニアの手術を受けており、国王の健康状態を不安視する声が出ている。

2012 年

2012-11-11（日）

国営サウジ通信は、アブドゥッラー国王が近く上背部の靭帯の手術を受けると報じた。

2012-11-16（金）

サウジのアブドッラー国王は、国家警備隊アブドゥルアジーズ王医療都市で背中の中核手術を受け、手術は成功裏に終わった。